

高崎観光協会 会報

縁起のいいまち
高崎

冬号
Winter
VOL.129

2015

鎌倉街道をゆく

『舟橋』『鉢木』『定家』
謡曲ゆかりの地 佐野





葛飾北斎の『かうつけ佐野ふなはしの古づ』(大分県立芸術会館所蔵)



鎌 | 倉 | 街 | 道 | を | ゆ | く |

— 『^{ふなはし}舟橋』 『^{はちのき}鉢木』 『^{ていか}定家』 —
謡曲ゆかりの地 佐野

高崎の上佐野町、下佐野町、佐野窪町。観音山丘陵を望む烏川河畔にある佐野地域は、『万葉集』東歌にも詠まれ、平安時代には和歌の題材として知られた名所。
^{かのとみのとし}辛巳歳（681年）の日付がある「^{やまのうえひ}山上碑」や^{じんき}神亀3年（726年）の「^{かないざわひ}金井沢碑」にも登場する群馬県内でも最古級の地名だ。

そして、能楽として演じられる謡曲『舟橋』、『鉢木』、『定家』のゆかりの地でもある。

※この地域の詳しい地図は、高崎観光協会のホームページでご覧になれます。<http://www.takasaki-kankouyukai.or.jp/>

佐野橋





常世神社



定家神社



高崎市赤坂町にある和菓子店『鉢の木』では、「鉢木」の中で描かれている偽りのない忠義心などを和菓子を通して今に伝えている。一夜の恩に報いて執権時頼が常世に梅・桜・松にちなんだ三箇の荘を与えたという美談を表現した銘菓「鉢の木」はその代表格。

献上銘菓処「鉢の木 七富久」

高崎市赤坂町 73 電話：027-322-6001

■営業時間 9:00~18:30 ■定休日 水曜

謡曲と伝説の里を訪ねて

平成26年12月22日に開業した上信電鉄『佐野のわたし駅』。その名称の通り、佐野は古くから川を渡る場所として歴史のあるところだ。

駅から上り坂の方に向かって30mほど進んで右折すると、烏川に架かる「佐野橋」に出る。人や二輪車が通れるだけの幅の狭い木橋の上から見る銀色に光る帯のような川の流れや河原と観音山丘陵が織りなす風景が葛飾北斎の浮世絵と重なる。

この佐野橋から200mほど北に行つた西光寺の脇に、「佐野の舟橋歌碑」が建つ。「かみつけの佐野の舟橋とりはなし親はさくれど吾はさかるがえ」と万葉集の東歌が刻まれ、裏には「古道佐野渡 文政十年(1827)…」とある。烏川は古くはもつと北寄り流れ、歌碑のあるところが舟橋のあった場所とされる。「烏川をはさんである二つの村のそれぞれの長者の娘と息子が恋仲となり、夜に舟橋を渡つて人目を忍んで会っていることを知った親が、ある夜橋板を外したことで、若い二人が川に落ちて死んでしまう」という伝説について詠まれたもので、

謡曲『舟橋』もこの伝説から生まれた。舟橋とは、舟をつなぎその上に板を渡して浮き橋としたものだ。「佐野の舟橋」は、平安時代に和歌の「歌枕」として多く詠まれた。

佐野橋から新幹線高架に沿って坂道を上ると左側に佐野源左衛門常世を祀る「常世神社」がある。栃木県佐野市にあった領地を横領され、常世が移り住んだ屋敷跡で、謡曲『鉢木』の舞台になっている。

『鉢木』では、窮迫の生活をしてきた武人佐野源左衛門常世が、大雪の夜に碓氷峠を越えて鎌倉に帰る旅の僧(実は鎌倉幕府執権北条時頼)を泊め、大切な盆栽である梅・松・桜の鉢の木を焚いて暖をとらせ、「貧しくても御家人としての心は忘れておらず、鎌倉に事あれば馳せ参じる」と語った。その後鎌倉への緊急召集に馳せ参じ、北条時頼から鉢木にちなんだ領地を与えられた。幕府の実権を握っていた時頼が、民情視察のため諸国行脚をしたという廻国伝説で、江戸時代には武士道をたたえる物語として好まれた。この常世神社からさらに100m

ほど行つたところに、鎌倉時代の初期に活躍した歌人・藤原定家を祀つた「定家神社」がある。定家が詠んだ「駒とめて袖うちはらうかげもなし佐野の渡の雪の夕暮れ」と「歌枕」で有名な佐野の地が結びつき、江戸時代中期に高崎在住の文人たちが、定家を祀つたとされる。

境内には、二つの小円墳が残っていて、この辺りは上野三碑の中で一番古い山ノ上碑に記されている「佐野三家」、朝廷の領地でありその管理者がいた土地とみられている。

昔は、定家が詠んだ「こぬ人をまつをの浦の夕なぎにやくやも塩の身もこがれつ」という恋の歌にあやかり、若い男女が恋愛成就の願をかけ、神社の格子窓に「やくやも塩の身もこがれつ」などと書いた紙片を結んだというが、謡曲『定家』では、定家の悲恋が描かれている。

佐野地域は、わずか半径200m圏内に謡曲にゆかりのある3地点が集まる稀有な場所である。



矢大臣と仁王像が背中合わせの山門



琴平神社は、江戸時代の文化年間に優れた剣客家であった高崎藩士・寺田宗有が讃岐から分霊を勧請したと伝わる。山門は正面が矢大臣で、裏面は仁王像がいる、神仏習合の珍しい門となっている。



鎌倉街道武者行列

地域住民が、城南大橋建設によって分断された由緒ある街道を後世に伝えたいと石碑を建て、平成元年からは、毎年琴平神社と白木稲荷の秋祭りの日（体育の日）に行っている。



鎌倉街道記念碑と鎌倉街道橋へ続く道

鎌倉街道の終着点 佐野（琴平神社）高崎城址へ

源頼朝が武家政治の中心地として幕府を開いた鎌倉に、越後や信濃、上州等の坂東武者が「いざ鎌倉」と馳せ参じるときの軍事道路として発達した鎌倉街道。一本の街道というのではなく、いく筋にも別れた道の総称で、場所を特定しにくい古道というイメージがある。

上信電鉄の「南高崎駅」から徒歩3分ほどの高崎市立城南小学校の正門の前に「鎌倉街道記念碑」がある。高崎の古名「和田」時代の絵図によると、和田城の北に金井宿、南に馬上宿と興禅寺があった。鎌倉街道は出水や大火により、また時代によりたびたび変化したようであるが馬上宿から興禅寺を廻り今の若松町、愛宕神社脇を経て竜見町、下和田、新後閑のこの地を通り一つは佐野、倉賀野方面へ。一つは烏川を渡って根小屋、山名方面へ向かい、それぞれ藤岡に至ったと推定されている」と記されている。

この記念碑の先にある「鎌倉街道橋」を渡ると「多中のごんびらさま」と言われる琴平神社に出る。かつて毎月10日の例祭のときには露店が出て賑わったそう。石段の両側を守っているのが天狗というのが面白く、境内には神秘的な洞穴に「和田稲荷大明神」という高崎では最も古い稲荷様が祀られている。この境内の隣には莊嚴寺があり、神社と寺院が隣り合うという古い形式を今に残している。

この琴平神社は、かつて秩父三十四観音霊場巡りに向かう人たちが落ち合つて出発した場所でもある。琴平神社の東を通って佐野へ通じる鎌倉街道には、秩父に向かう人々の姿があった。周辺には、秩父への道を示す道標や道祖神が残っている。

● ●
鎌倉街道をゆく



高崎温泉 いやしの里 さくらの湯

高崎市下和田町 1-10-3 電話：027-386-4321

■泉質 ナトリウム・塩化物・炭酸水素塩温泉(中性低張性温泉)

■営業時間 11:00~22:00(年中無休) ■入浴料金 毎日一律 550円



点心房 チャイニーズファン CHINESE FAN 本店

高崎市竜見町 10-8 電話：027-328-1212

■営業時間 火~日 11:30~14:30 (L.O.14:00)

17:30~22:00 (L.O.21:30)

■定休日 月曜

◀坦々刀削麺ランチセット

前菜・サラダ・小籠包2個・焼小籠包1個

デザート付 1,700円(税込)

幸福感がアップする 住宅街の天然温泉や食のスポット

南高崎駅から中心市街地方面に徒歩で3分程行った閑静な住宅地に、「高崎温泉」の看板を掲げ、「さくらの湯」と書かれた大きな暖簾が軒先にかかる一軒の日本家屋が現れる。「源泉掛け流し100%天然温泉」。源泉掛け流しは、泉質の効能がより発揮されるという。日帰り温泉施設の入浴料は550円とリーズナブル。泉質もよく湯上りの肌すべすべ感が利用者に好評。施設前の駐車場も第二駐車場も車の出入りが多く、地元民に愛されているという印象で、散策の疲れをほぐすのもってこいのスポットだ。

一方で、まずは落ち着いてランチをとりたいという人には、さくらの湯から徒歩4分程のところにある創作中華の店「点心房 CHINESE FAN (てんしんぼうチャイニーズファン) 本店」がおすすすめ。薄皮の中にとったぷりの肉汁が詰まった小籠包が、オープン以来の看板メニューで、ランチセットに「蒸し」と「焼き」の両方が付く。メインは人気の坦々刀

削麺。削った麺の表面に胡麻風味の濃厚なスープがよく絡み、あつという間にお腹を満たすこと間違いなし。県産の自然農法野菜やハーブ豚など素材へのこだわりや、全席ソファのゆったり感が嬉しい店だ。

昔ながらの店舗が並ぶ通りにあるコーヒーの自家焙煎工房と喫茶店を兼ねた「いし田珈琲」。新田町交差点すぐそばにある。ご主人の石田登さんは、この世界に入ってから46年。生豆の段階と焙煎後に一粒一粒手作りで豆の状態を確かめる。石田さんの豆で入れたコーヒーは光沢が艶やかで味と香りが深い。また軽食は、スタンダードなメニューにもかかわらず、素材の良さと長年培った丁寧な調理技術が光って記憶に残る味わい。奥様の充得さんの社交性もあって、店内はホッとできる温かな空気が流れている。



自家焙煎 いし田珈琲

高崎市新田町 1-3 電話：027-328-6999

■営業時間 8:30~18:30

■定休日 月曜

03

2/14~
(土) 20
(金)

シネマテークたかさき



『ムーンライティング』
© 1982 MICHAEL WHITE LTD.

高崎映画祭 第29回プレ祭

イエジー・スコリモフスキ監督特集
～ポーランドの風、その軌跡～

今春、高崎映画祭は29回目を迎えます。世界各国の優れた作品や、日本の才能あふれる作家の作品などを紹介する予定ですが、その本祭の開催に先立ち、プレ祭を行います。

今回は、ポーランドの鬼才イエジー・スコリモフスキ監督を取り上げます。1960年代半ばのポーランド映画界で「新しい波」を巻き起こし、世界的評価を得た彼は、その後亡命。苦難の映画製作を続けるなかで傑作を生み出し、祖国への帰帰を果たしました。是非この機会にご鑑賞ください。

- お問い合わせ：高崎映画祭事務局
(シネマテークたかさき内)
TEL.027-326-2206
<http://takasaki.film.gunma.jp/>

04

3/8
(日)

多胡碑記念館



多胡碑一般公開

年に一度の恒例行事となっている多胡碑の一般公開が、今年3月8日に行われます。

高崎市吉井町池にある多胡碑(特別史跡)は、およそ1300年前の和銅4年(711)に、この地に新しく多胡郡が設置されたことを伝える石碑です。日本三古碑のひとつに数えられているほか、今も語り継がれる「羊太夫伝説」の遺跡として知られ、山上碑、金井沢碑と合わせて上野三碑と呼ばれ親しまれています。

碑は「上毛かるた」の絵札でおなじみの建物内に保管されていますが、3月8日の一般公開では実物を間近に見ることができます。関連イベントとして、同日は、池地区のお祭りと金井沢碑・山上碑の同時公開のほか、群馬書作家展(3月7日から)も併せて開催します。詳しい日程をご確認のうえ是非お出かけください。

- お問い合わせ：多胡碑記念館
TEL.027-387-4928
文化財保護課
TEL.027-321-1292

01

1/6・7
(火) (水)

少林山達磨寺



七草大祭だるま市

福だるま発祥の寺、少林山達磨寺で1月6日昼から7日昼すぎまで「七草大祭だるま市」が盛大に開かれます。

本堂周辺にたくさん軒を連ねる露店では縁起のよい福だるまが威勢良く売られ、福を求める家族連れなどで夜遅くまで賑わいます。

約200年前、天明の大飢饉で苦しむ農民の窮状を見かねた達磨寺9代目の住職東嶽和尚が近くの農民に張り子のだるま作りを伝授し、昔から行われていた七草大祭の縁日で売られるようになったのが少林山の「だるま市」の起こりです。

年間生産量約90万個で全国シェアの大多数を占める高崎だるまは、鶴と亀が向かい合った縁起のいい顔で描かれています。願掛けだるまですから、新しくもめた際は向かって右の目に願いを込めて墨を入れ、やがてその願いが叶ったときに、もう片方の目に感謝の心を込めて墨を入れます。

高崎だるまは、群馬県第一号の地域ブランドとして群馬県のみならず、全国的に知られています。

- 日時：平成27年1月6日(火) 昼頃から
1月7日(水) 昼頃まで ※6日の晩は夜通し
- 場所：高崎市鼻高町296番地 少林山達磨寺
- アクセス：電 車：JR信越本線(高崎駅～群馬八幡駅)
バ ス：群馬バス(高崎駅西口～少林山バス停)
タクシー：JR高崎駅～少林山達磨寺(定額料金にて運行)

※だるま市当日、少林山周辺は交通規制が行われます。大変込み合いますので、公共交通機関・タクシーでお出かけください。

- お問い合わせ：少林山達磨寺 TEL.027-322-8800
<http://www.daruma.or.jp/>
(一社)高崎観光協会 TEL.027-330-5333

02

1/31~2/10
(土) (火)

高崎シティギャラリー



「たかさき絵本フェスティバル」 第21回 絵本原画展

■絵本原画展

絵本界で活躍中の作家7組の作品を展示。展示物は絵本原画にとどめず、「創作活動に欠かせない道具」「アイデアが本になるまで」等、各作家のアイデアを取り入れた個性的なもの。期間中は作家によるワークショップやサイン会も行われます。

■特別企画 『絵本ボックス』

高崎駅から会場までの通り沿いや賛同商店の店頭にてテーマごとに選書した「絵本ボックス」を設置。町全体で絵本を楽しむことができます。

また、1月21日から25日に高崎駅イベントスペースにて『絵本と子ども遊びの広場』としてイベントのPRも行われます。

- お問い合わせ：NPO法人 時をつむぐ会
TEL.027-352-4613
高崎市中居町4-31-17
<http://takasakiehonfes.org/>

高 崎 市 の 冬 の イ ベ ン ト

06

梅祭り

3/15
(日)

観覧期間

3月上旬から3月下旬



榛名の梅祭り

榛名地域は東日本一の梅の生産地です。榛名梅林は7万本の梅が咲き誇り甘い香りを放ちます。

観覧期間は例年3月上旬から3月下旬にかけて、梅の花の白で山々が覆われる景色を楽しんで下さい。また、梅の開花に合わせて開催されるイベントとして「榛名の梅祭り」や「はるな梅マラソン」があります。

榛名の梅祭りは3月15日(日)に開催されます。

- 主会場：榛名文化会館(エコール)前庭
- 開催時間：午前9時30分～午後3時30分
- イベント内容
 - ・梅製品の無料提供、販売
 - ・芸能ショー
 - ・キャラクターショー
 - ・その他ゲームやコンテスト

梅の香りの広がる梅林で、一足早い春を満喫して下さい。
3月8日(日)には同会場において、全国から3,000人のランナーが、榛名の地で健脚を競うはるな梅マラソンが開催されます。

●お問い合わせ：榛名の梅祭り実行委員会
(高崎市榛名支所産業観光課)
TEL.027-374-5111

05

3/月上旬～下旬

箕郷梅林
(榛名山南麓の丘陵)



みさと梅まつり

箕郷梅林は、榛名山南麓の丘陵300haに、約10万本の梅が栽培されています。そのほとんどが、実を収穫するために管理されている生産梅林です。5月下旬から7月上旬にかけて、たわわに実った新鮮な梅が収穫され、本市は東日本一の梅の生産量を誇っています。

3月上旬から下旬にかけては、この梅が一斉に花を咲かせ、丘陵一面に純白の絨毯を敷き詰めたような景色が広がります。一度は見ておきたい高崎の絶景ポイントのひとつです。

また、梅の開花に合わせて、「みさと梅まつり」が開催され、特産の「梅」を使った様々な加工品を販売する売店も出店しますので、お気に入りの「梅」を見つけてみてはいかがでしょうか。その他にも土日を中心に様々なイベントも予定されており、毎年大勢の観光客で賑わっています。

今年のおすすめは、雄大な景色の中で、本格的なお茶を楽しめる野点です。是非、大自然の中で甘酸っぱい香りに包まれながら、家族そろって早春の景色と梅味をお楽しみください。

- 駐車料金 普通車：300円 大型車：1,000円
- アクセス JR高崎駅から車で約30分

●お問い合わせ：箕郷支所産業課
TEL.027-371-9065

08

1/9～18
(金) (日)

東京ドーム



「ふるさと祭り東京2015」

高崎観光協会では、昨年に引き続き、「ふるさと祭り東京」に出展し、高崎の魅力を全国にPRし、都市ブランド力の強化やシティプロモーションの推進に取り組んでまいります。

今回は、高崎の食と伝統芸能をPRするとともに、観光情報を積極的に発信するための広報宣伝活動も強化し、首都圏からの新たな誘客を図ってまいります。

- 期日 平成27年1月9日(金)～18日(日)
- 会場 東京ドーム(東京都文京区)

3/14～15
(土) (日) 高崎駅東西広場

「北陸新幹線関連イベント」

いよいよ3月14日に北陸新幹線が金沢まで延伸開業、また高崎線の東京駅乗り入れが始まります。高崎観光協会ではこれらを記念して、高崎駅東西広場で食をテーマにした観光イベントを企画しております。今後の詳しい情報は高崎観光協会ホームページにてご確認ください。

- 期日 3月14日(土)・15日(日)
- 会場 高崎駅東西広場

07

1月～3月の主な開催イベント

1月8日	福だるま市(新町)	2月3日	節分祭(各町)
1月10日	初琴平(新後閑町)	2月8日	第14回多胡碑マラソン大会(吉井町)
1月12日	八幡の鳥追い(八幡町) ※雨天の時は18日に変更	2月8日～3月3日	新町ひなまつり(新町)
1月中旬	どんど焼き(各町)	2月15日	榛名神社御神楽始(榛名山町)
1月15日	強者弓始式(棟高町)	3月8日	第24回TAKASAKICITYはるな梅マラソン(上里見町)
"	北向道祖神大祭(倉賀野町)	3月15日	オリエンテーリング高崎大会(観音山)
1月16日・17日	水沼夜観音縁日(倉沢町)	3月18日	柳原馬頭観音縁日(南大類町)
1月18日	柳原馬頭観音だるま市(南大類町)	3月19日	御嶽教による火渡祭(貝沢町)
1月28日	室田滝不動尊大祭(中室田町)	3月29日	カタクリ咲いたまつり(吉井町)
		"	春季例大祭 諏訪神社(金古町)

●お問い合わせ：(一社)高崎観光協会 TEL.027-330-5333

09

人情市

ようこそ高崎人情市



- 平成27年1月25日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場
- 平成27年2月22日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場
- 平成27年3月22日(日) (午前8時～午後3時) ※会場：もてなし広場

●お問い合わせ：事務局 NPO 法人高崎やる気堂(高崎市剣崎町1348-1)
TEL.027-343-5130 FAX 027-340-7067
<http://ninjou.gunmablog.net/>

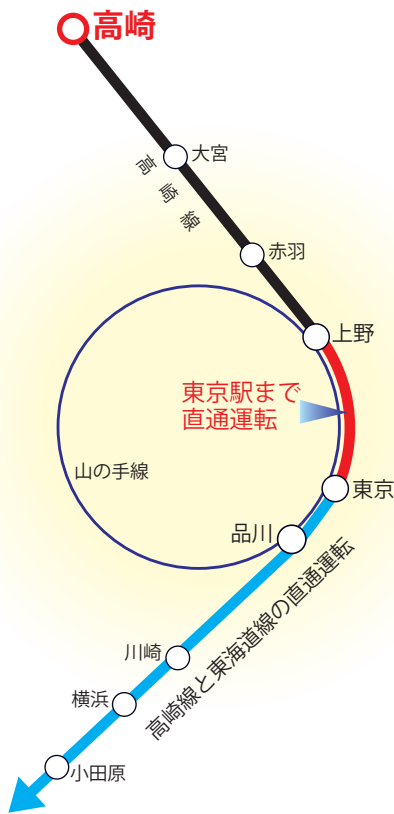


2015年3月14日

北陸新幹線金沢開業



高崎がより便利に



上野東京ライン開通

高崎線と東海道線が相互運転

